

人権・平和・環境

あしだかわ

発行

南部生涯学習センター
 福山市沼隈町草深
 1889番地6(沼隈支所3階)
 TEL 980-7713
 FAX 987-2382



E-mail: nanbu-syougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市ホームページ(URL:<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>)から「あしだかわ」で検索!

パネル展

子どもの目からみた学童疎開 - 戦争と子どもたち -

入場無料



前期 7月22日(月)~8月7日(水)
 後期 8月9日(金)~8月24日(土)

とき 8時30分~22時
 ところ 沼隈支所ロビー

1994年、大阪市福島区の国民学校10校から2,958人の児童が福山市内へ疎開しました。野田小学校から南部管内の、水呑・高島・瀬戸・熊野・千年・山南のお寺へ357人の児童が学童疎開をしました。

当時の子どもたちの日記が残されています。戦時下の子どもたちの日常生活のパネルを展示します。

命について考えよう!

ビデオ上映会

とき 8月1日(木)2日(金)
 ところ 沼隈図書館2F市民ギャラリー

~上映作品~

- ・やさしいおおかみ(15分)
- ・花さき山(20分)
- ・一つの花(25分)

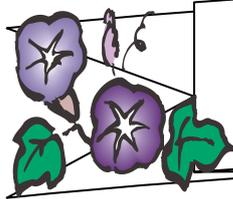
とき 両日とも

1回目 10時00分~11時00分

2回目 13時30分~14時30分



しかくしょう とう りゆう ひと えいりもくてき のぞ ろくおん てんじ かくだい みと
 視覚障がい等の理由がある人のために、営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。



南部こんなんやるday



内海公民館 TEL：986-3722

「EMせっけん作り」

靴下・運動靴などのガンコな汚れ、換気扇の油汚れでお困りの方、ぜひご参加ください。

と き 7月19日(金) 13:30~

ところ 内海公民館 実習室

材料費 100円

~汚れてもよい服装でおこしく下さい~

☆申し込みは、内海公民館まで
7月12日(金)までに申し込みください。

瀬戸コミュニティセンター TEL：951-1809

山手コミュニティセンター TEL：951-5679

※まちパス対象事業

「ピースメッセージ@ぬまくま2013」

と き 8月9日(金)

18:30~22:00

ところ 能登原公民館

内 容 ・メッセージツリーライトアップ

応募いただいたメッセージをそえて
ツリーをライトアップ

・ピースコンサート

出演：LIVES(ライヴズ)

20:00頃から始まる阿伏兎花火大会と
合わせてお楽しみください。

沼隈図書館 TEL：987-5630

「オリジナルマイボトルをつくろう」

と き 7月9日(火) 10:00~12:00

内 容 タンブラー内側の型紙を和紙やシール
などで飾り、オリジナルマイボトル作成

対 象 一 般

定 員 15名(先着)

材料費 100円

申込み 7月2日(火) 10:00~

来館または電話で

「あかちゃんといっしょのおはなし会」

と き 7月10日(水)・11日(木)

両日とも11:00~11:30

内 容 絵本の読み聞かせ、手遊びなど

対 象 乳幼児と保護者 ☆無料です



「タイルアート」

と き 7月28日(日) 13:00~16:00

内 容 木のわくにいただいたタイルを貼り、絵を作成

対 象 小学生

定 員 35名(先着)

持ち物 タオル、ピンセット、飲み物

申込み 7月17日(水) 10:00~

来館または電話で

報告

うつみキラキラドームリニューアル

6月7日（金）に内海町にある『キラキラドーム』の整備を地域の方々で行いました。

<内容>

- ・ドームの再建
- ・ばらの剪定、植え替え
- ・杏の木の剪定
- ・草取り



完成！

9時から12時までの3時間、とても良い天気です。日差しは強かったですが、風が少しあり気持ちよかったです。

次回は、12月にもう一度ばらの剪定を行います。来年度には、きれいなばらドームが見られる予定です。



ポ～/さんのささやき

今年は、梅雨入りが例年よりとても早かったですね。しかし、なかなか雨が降らず、農業をされている方を悩ませたのではないのでしょうか。暮らしの中にあたりまえのようにある水ですが、いざ少なくなってくると大きな問題に発展してしまいます。

災害や事故などで、いきなり断水してしまうかもしれませんし、日照りが続き水不足になるかもしれません。普段から水など環境に感心を持ち、いざというときのことを考えてみてはどうでしょうか。備えがあれば安心ですし、災害時のシュミレーションをしておけば、気持ちに余裕が生まれ、周りの人に気を配ることができます。

水や空気や人権など私たちの身の回りに、あたりまえにあるものが、希薄になると困りますよね。そこに気付くと、意識が少し変わるのではないのでしょうか。



いつまでも だいじにするよ おともだち

最終回!!

青年の父 山本瀧之助の足跡を訪ねて

【23】瀧之助が残したことば

山本瀧之助は、その著作活動や講演・講習活動などで多くのことばを残している。「均しくこれ青年なり」「一日一善」「己に克てよ」については、すでに述べている。今回は、それ以外について述べる。

「退一步而待人 進一步以当事」これは瀧之助唯一の座右の銘である。講習でもしばしば話しているが、1926年（大正15年）11月号、12月号の『青年の天地』で次のように解説している。「一步退は人を容れる心情、事に当っては一步前進したい。『いざ』『何のその』という意気が大切である。」つまり、人に接するにあたっては寛容の心。事に当っては前進の意気が大切であると言っている。

「一荷合力」ということばは、常石に古くからある習慣で、家の新築に際し、隣保の人々が船で運ばれて来た瓦を工事現場まで天平棒で運び込む相互扶助作業のことである。瀧之助は、1906年（明治39年）の「常石時報」という新聞の投稿記事に「青年の皆さんは、この一荷合力の心をもって会のためにつくしてはいかがでしょう。」と提案している。瀧之助が指導した沼隈郡の青年活動では、地域や村のために多くの奉仕作業を行っているが、ここには「一荷合力」の精神が活かされている。福山市が提唱する「協働のまちづくり」も実は、この「一荷合力」に由来している。

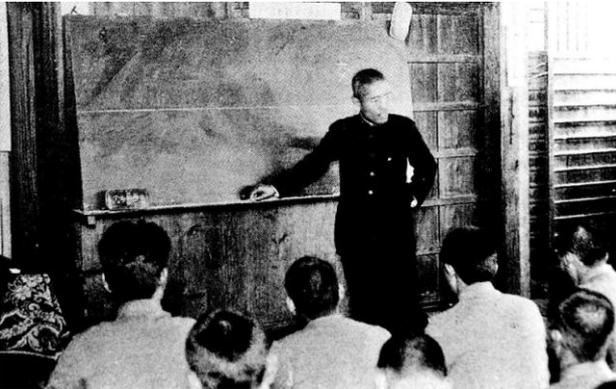
「学び続けたら君たちの人生は輝く。」

講習会でしばしば話したことばである。瀧之助は青年巡回講習会で、自分の歩んだ人生を淡々と語り、学ぶことや努力の大切さを話した。これによって勇気付けられ、奮起し、将来への希望を抱いた青年は実に多い。

瀧之助のことばは、いずれも彼の人生経験から生まれたことばであり、時代を越えて現代にも通用するものばかりである。



瀧之助
直筆の短冊



青年たちに話す山本瀧之助

<終り>

執筆：上田 靖士（山本瀧之助研究会）

「青年の父 山本瀧之助」生誕140周年記念写真展

期 間	会 場
6月26日(水)～7月9日(火)	西部市民センター
7月11日(木)～7月21日(日)	新 市 支 所
7月22日(月)～7月31日(水)	北部市民センター